



編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
Tel: 096(333)2699
Mail: kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

第10回 鞠智城フォトコンテスト 入賞作品決定！

歴史公園鞠智城・温故創生館では、9月10日から1月19日まで、鞠智城フォトコンテストを開催しました。節目となる今年の大会には、10歳から84歳まで、101作品の応募があり、小中高生の皆様からもたくさん応募がありました。

川上和臣
鞠智城賞
「鞠智城と農家の営み」



鼓樓霧中 上野弘喜
鞠智城賞



特別賞 「家族の休日」 河本 泉



特別賞 「夕暮れ」
北村 幸雄



特別賞
「輝く星座の下で」
北山 一則



特別賞 「ようこそ、海の彼方から～」 奥村 勝



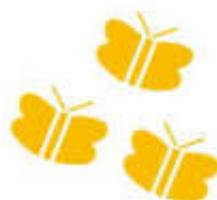
作品は温
故創生館
で展示して
るコロ！



グランプリ 「初雪の鞠智城」 蔵原 松三

審査していただいた写真家の長野良市さんと熊日編集局写真映像部部長の横井誠さんからは、写真を撮るのに必要な要素をすべて満たしている「写真の中の写真」という講評がありました。

この記事に関する問合せ先：歴史公園鞠智城・温故創生館（0968-48-3178）



こども本の森 熊本
Kumamoto Children's Book Forest

開館時間 9:30-17:00 (1日4回の入替制)
定休日 毎週火曜日・毎月最終金曜日ほか
住所 熊本市中央区出水2-5-1 熊本県立図書館 南側
TEL 096-240-1500
HP <https://kodomohonnombori.kumamoto.jp/>
※団体利用は利用日の1か月前までに要申込
まずはお気軽にお電話ください。

おかげさまで
4月で開館1周年/
▼入館予約 ▼イベント情報



熊本地震及び令和2年7月豪雨被災文化財情報発信出前授業 ～小中25校で文化財に対する関心が大幅に向上～

熊本県文化課では、平成28年熊本地震及び令和2年7月豪雨で被災した文化財の復旧の様子を伝え、子供たちが文化財の大切さについて学び・考える授業を実施しています。令和6年度の授業実施後のアンケートでは、実施前は約57%だった文化財への関心が、実施後は約89%に高まったというアンケート結果が出ています。

文化財○×クイズおもしろい。めざせ全問正解！

本物の玉器を実際に見てさわり、興味津々

授業の様子



授業のながれ

- 1 熊本地震（令和2年7月豪雨）の被害について振り返る
- 2 被災した文化財の被災状況と復旧に向けた取組について知る
- 3 学芸員の説明を聞き、自分たちの地域の文化財について理解を深める
- 4 文化財の復旧や保存の必要性について考える

これからも地域の文化財を守り、受け継ぐ担い手たちを育んでいけるよう活動していきます。令和7年度も実施予定ですので、たくさんの御参加をお待ちしております。授業の様子は、熊本県文化課SNSで紹介しています。

この記事に関する問い合わせ先：文化課（096-333-2707）

令和6年度（2024年度）人権教育の指導方法等の工夫・改善実践協力校の取組

県教育委員会では、「人権教育の指導方法等の工夫・改善パンフレット『実践行動につなぐ』3つのアプローチ」を基に、自他の人権を大切にする実践行動のできる児童生徒の育成に取り組む実践協力校（3校）を指定しています。今年度の取組の様子を紹介します。



小国町立小国小学校



友達の思いを知り、「仲間としてつながること」について考えた学年全体での取組。

南阿蘇村立白水小学校



地域の人やくらしから学び、自分と重ねながら、思いを学級全体で共有した取組。

南阿蘇村立久木野小学校



班活動で互いに考えを深めながら、学校での学びを実生活につなぐ取組。

過年度の実践協力校の様々な工夫・改善の取組は、人権同和教育課ホームページに掲載しています。

この記事に関する問い合わせ先：人権同和教育課（096-333-2702）

今年度の取組も掲載予定です。



令和6年度（2024年度） 「熊本の心」優秀作文 決定！

県教育委員会では、児童生徒が、郷土熊本の持つ豊かな自然やその風土が育んできた伝統や文化から学び、郷土に対する愛着を深めるよう、「熊本の心」（助けあい 励ましあい 志高く）の普及・啓発に取り組んでいます。

7月1日～9月13日の期間、県内在住の小・中学生及び高校生以上を対象として、「熊本の心」作文を募集したところ、3,540点の応募がありました。

作文審査の結果、最優秀賞（熊本県教育委員会賞、「熊本の心」推進協議会賞）及び優秀賞（熊本県文化協会賞、熊公徳会賞、熊本日日新聞社賞、熊本県地域婦人会連絡協議会賞、熊本県PTA連合会賞）が決定しました。



熊本県教育委員会賞を受賞した星田 結乃さん（右）



上段：各団体の授与者
下段：被表彰者7名



「熊本の心」推進協議会賞を受賞した梅本 佳英さん（右）

1 最優秀賞

賞の種類	氏 名	学校名	学年	作文題
熊本県教育委員会賞	ほしだ ゆの 星田 結乃	荒尾市立万田小学校	3	わたしのふるさと荒尾市
「熊本の心」推進協議会賞	うめもと かすみ 梅本 佳英	天草市立本渡中学校	3	地域のつながりと私たちの暮らし

2 優秀賞

賞の種類	氏 名	学校名	学年	作文題
熊本県文化協会賞	なかた こうえい 中田 光瑛	宇城市立松橋小学校	6	松橋 日本一のあいさつ
熊公徳会賞	えとう えいこ 江藤 栄子	熊本県立ゆうあい中学校	1	私の人生無限大
熊本日日新聞社賞	なかしま そら 中嶋 大空	宇土市立網田中学校	3	ノリ博士と僕の誇り
熊本県地域婦人会連絡協議会賞	わたなべ こうすけ 渡邊 皓亮	熊本県立松橋支援学校 高等部	1	優しさがあるから今がある
熊本県PTA連合会賞	たしろ かんな 田代 葉那	菊池市立七城中学校	1	一步・踏み出す勇気

表彰者の作文は、熊本県教育委員会HP（「令和6年度『熊本の心』優秀作文」）をご覧ください。

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/222985.html>

この記事に関する問い合わせ先：社会教育課（096-333-2697）



公立中学校における部活動の地域移行について

熊本県教育委員会では、令和5年度から公立中学校（熊本市を除く）における部活動の段階的な地域クラブ活動への移行（地域移行）を進めています。

今年度は6月号、9月号、12月号で地域移行に関する内容を掲載してきました。今回は、今年度、スポーツ庁から「重点地域」に指定されて取組を進めてきた南関町と大津町の取組の一部を紹介します。

※重点地域とは・・・スポーツ庁が地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域として指定した都道府県のこと。（令和6年度は全国で7県が指定を受けました。）

南関町の取組

「多様なスポーツ体験会の実施」

生徒と保護者を対象に、中学校の部活動では経験することのできない①ACP（アクティブチャイルドプログラム）、②ヨガ、③スナッグゴルフ、④ロコボットの体験会を実施しました。普段の部活動では「上手くなることや成績を残すこと」が目的になりがちですが、この体験会では、「スポーツを楽しむ」ことを目的として実施しました。参加者からは「初めての体験で楽しかった。」との感想が多く見られ、子ども達が将来に渡ってスポーツを楽しむためのマインド形成に大きく寄与する取組になりました。

部活動の準備運動に取り入れたい。

家でもやりたい！



大津町の取組

「大学生の活用」

大学生をアシスタントコーチとして、町内中学校の部活動に派遣しました。生徒が安全に活動できるように見守りを行う等、部活動顧問をサポートする役割を担いました。生徒との年齢が近いこともあり、生徒も積極的にコミュニケーションを取る様子が見られました。

「動画コンテンツの作成」

生徒が自主的に活動できるコンテンツとして、競技団体や社会人チームが監修を担当した練習メニュー やゲームの方法がわかる動画を作成しました。

熊本県地域クラブサポーターバンクについて

部活動の地域移行における課題の1つが「指導者の確保」です。この課題の解決に向けて、熊本県教育委員会では、「熊本県地域クラブサポーターバンク」を設置しています。このバンクは、指導者やスタッフとして参加できる方に登録いただき、地域クラブを運営する市町村等に情報を提供する仕組みです。令和7年2月末現在で190の方に登録していただいている。

※登録者には、地域移行等に関する様々な情報をメールでお届けしています。



←こちらのQRコードから登録フォームへアクセスできます。

県教育委員会では、令和7年度も引き続き、部活動地域移行の取組を進めています。

この記事に関する問い合わせ先：運動部活動：体育保健課（096-333-2710）

文化部活動：義務教育課（096-333-2689）

向上しています！
熊本県の児童生徒



本県の小・中学校の学力・学習の状況

(令和6年度熊本県学力・学習状況調査の結果より)



↑調査結果の
詳細はこちる

令和6年12月に、小学校3～6年生と中学校1・2年生を対象に「熊本県学力・学習状況調査」を実施しました。主な結果をお知らせします。

教科に関する調査結果

※数値は、全国平均値を100とした時の県平均の割合
※赤字下線は、全国平均を上回った教科

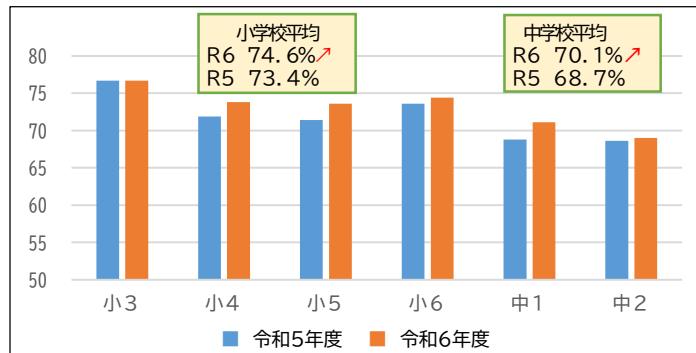
学年	小学3年		小学4年		小学5年		小学6年		中学1年		中学2年			
教科区分	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
R6年度	103.3	104.0	101.3	108.9	103.0	107.2	99.2	109.3	102.4	97.9	88.1	101.3	103.4	85.6
R5年度	98.4	105.8	103.0	105.8	107.8	108.6	101.7	104.0	100.0	103.2	94.7	100.1	99.1	92.5

全国平均を上回った教科は、全14教科中10教科でした。また、本調査を開始した令和元年度から、今回初めて、小3国語、中2数学が全国平均を上回りました。

質問紙調査結果

※「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合を示しています。

○「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」



○「先生はクラスのみんなのことを、褒めたり、はげましたりしてくれますか。」

校種	R5	R6
小学校平均	94.0%	94.4%
中学校平均	92.8%	92.8%

【参考】[教師質問紙]
あなたは、授業等で関わる児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。

校種	R5	R6
小学校平均	98.6%	98.1%
中学校平均	97.0%	97.4%

※肯定的に回答した教師の割合

本県では、「児童生徒を学びの主体」とする授業を目指しています。「課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいた」と感じている児童生徒の割合が昨年度より増加しました。また、先生が褒めてくれると感じている児童生徒の割合は高く、褒めるなどの取組を行っている教師の割合も高い結果となりました。



児童生徒一人一人の課題克服に向けて

県教育委員会では、調査後に児童生徒一人一人へ、県学力・学習状況調査の結果を示した個人票や児童生徒用Webカルテ(マイカルテ)、復習用教材※を提供しています。

保護者の皆様へ

学校では、個人票を基に、児童生徒一人一人へ意欲を高める声掛けやアドバイスを行っています。御家庭でも、認め、褒め、励ましたりするなど、子供たちが学ぶ意義を感じたり、やる気が高まったりするような関わりをお願いします。



個人票
を一緒に
確認



「2」の問題では、学習した漢字が正しく使えていたね。

復習用
教材を活用



分数の問題を一緒に
解いてみよう。

ケーキを切り分ける時を
例に考えてみよう。

※ 復習用教材は、Web上で確認したり、解答したりできます。また、県教委作成の「くまナビ評価問題」を復習用教材として活用することができます。

↑「くまナビ評価問題」

くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰受賞者決定



令和7年2月5日(水) くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰式（特別賞受賞者）

県教育委員会では、誰かのために、地域社会のためにひたむきに頑張っている児童生徒を励まし、熊本を笑顔にする児童生徒の善い行いを讃える「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」を行っています。

今年度は、5年ぶりに熊本県庁にて表彰式を開催しました。会場は、思いやりある善い行いと受賞した児童生徒の笑顔に包まれ、心温まる表彰式となりました。熊本を笑顔にする児童生徒の善い行いの一部をご紹介します。

推薦数:69件
特別賞:29個人
4団体
入賞:25個人
11団体

氷川町立宮原小学校

5年 川口 はな さん

校門近くで毎朝見守りをしてくださる高齢女性の姿が見えないことを心配し、体調を気遣う内容の手紙を高齢女性宅のポストに入れました。高齢女性は、生きる力が湧いてきたと話されていたそうです。

多良木町立多良木中学校

3年 池田 莉亜 さん

親戚の病気をきっかけに、自分も何かお手伝いができるべといふ気持ちで、医療用ウイッグを無償で提供する「ヘアドネーション」に取り組みました。初めて提供したのは、中学1年の時で、これまで2回提供しています。

熊本県立上天草高等学校

3年 太田 龍 さん 梅尾 匡信 さん

3年間、学校に依頼のあったほぼ全てのボランティア活動に精力的に参加しました。特に、上天草市や天草青年の家主催のイベントには毎年参加し、職員との対話やイベント参加者への声かけなどを行いました。

熊本県立大津支援学校

高等部2年 濱田 朱李 さん

岡田 ニコール さん
吉川 愛美 さん

下校時、歩道に倒れている高齢男性を発見、熱中症と判断し、持っていた下敷きで風を送る処置を行いました。また、役割分担をし、救急センターに電話で状況を説明したり、声掛けを続けたりするなどして、救助を行いました。

特別賞、入賞者の詳細は
熊本県教育委員会のHP
でご覧になることができます。



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2689）

【学校問題解決支援相談窓口】を開設しました！

いじめや不登校、児童・生徒同士のトラブル等、学校で起こった様々な事案について、保護者と学校がともに解決に向けて取り組んだうえで、なかなか解決せずお困りの場合、学校問題解決支援コーディネーター（学校管理職経験者）が直接相談をお受けします。

ポイント!!

～相談を受けるにあたって～

- 子どもにとって何が大切な考え方、中立的な立場で相談を受けます。
- よく話を聴き、事実関係を整理したうえで、問題の解決を支援します。

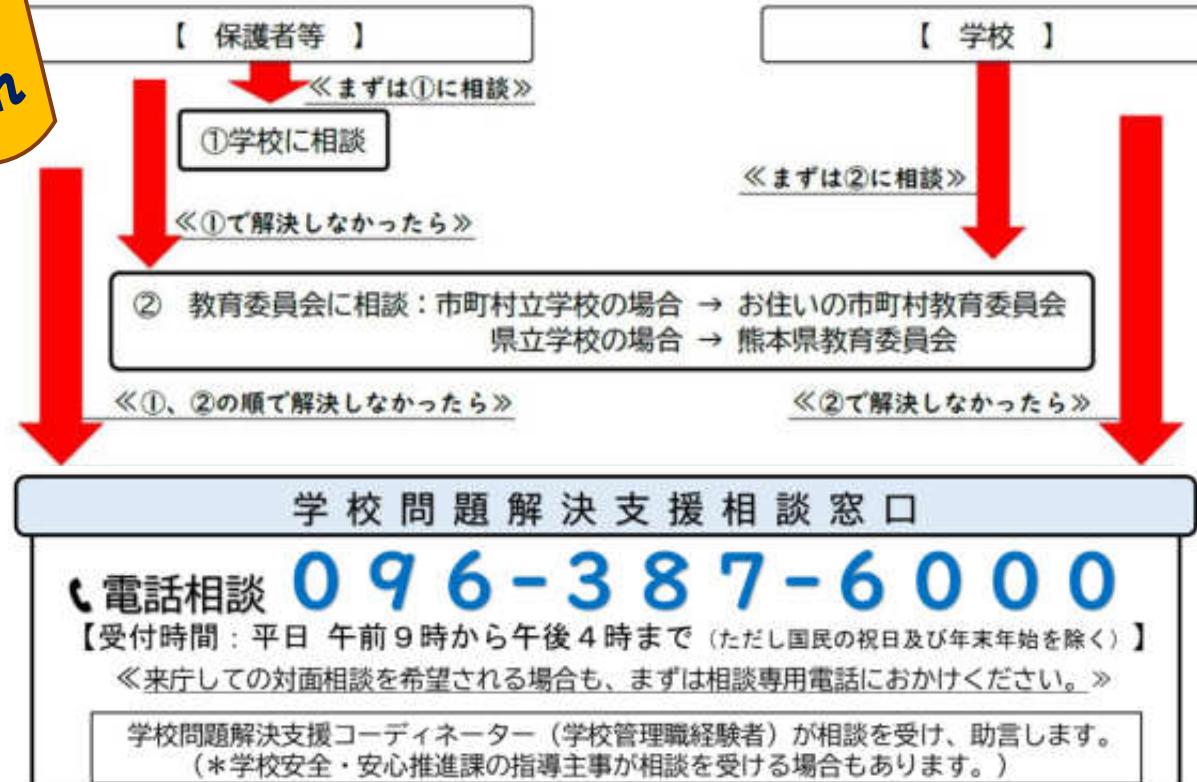
専門的視点から検討を要する場合

相談内容によっては、専門家からの助言を受けたうえで、コーディネーターが回答します。
また、場合によっては、専門家を派遣することもあります。

【専門家】

スクールカウンセラー、
スクールソーシャルワーカー、
精神科医、弁護士、
警察官経験者 等

基本的な相談の流れ



ポイント!!

上の図は、あくまでも基本的な相談の流れです。この流れでなくとも、相談をお受けしますので、学校で起こった事案でお困りでしたら、ぜひ当相談窓口にお電話ください。



くまもとICTコンテスト (ICT活用コンテスト: 県教委主催) 優秀作品が決定

熊本県教育委員会では、児童生徒の興味関心を引き出し、情報活用能力やICT操作スキルの向上等を目指し、毎年「くまもとICTコンテスト」を実施しています。

児童生徒を対象とした「プレゼンテーション部門」と、教職員を対象とした「ICT活用指導部門」の優秀作品を紹介します。

「プレゼンテーション部門」（児童生徒対象）

賞名	学校名・学年	タイトル
最優秀賞 (小学校中学年)	高森町立高森中央小学校 4年生	温度・湿度センサーで熱中症を防ぐ
最優秀賞 (小学校高学年)	山江村立山田小学校 6年生	山田小の歴史
最優秀賞 (中学校)	美里町立砥用中学校 1年生	ふるさとCM作りました！
最優秀賞 (高等学校)	熊本工業高等学校 2年生	課題研究で学んだこと - 誤情報を避けられるシステム -
優秀賞	南関町立南関第二小学校 3・4年生	S D G s って何だろう
優秀賞	氷川町立宮原小学校 4年生	通潤橋見学で学んだこと
優秀賞	山江村立山田小学校 6年生	山江村と山田小学校の歴史
優秀賞	熊本工業高等学校 2年生	課題研究「My memoriesと意思表示ボタン」

「ICT活用指導部門」（教職員対象）

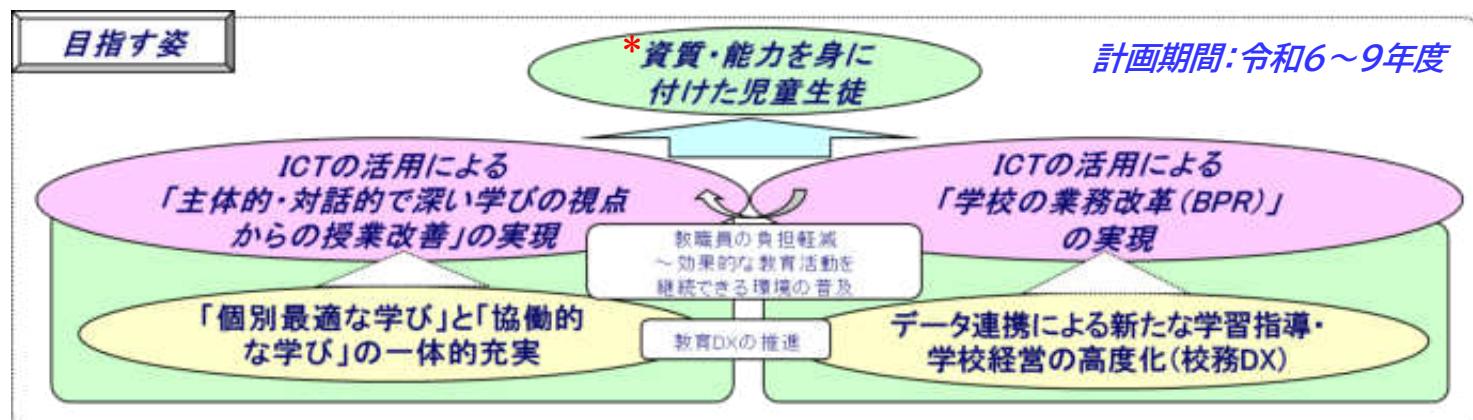
賞名	学校名・実践者名	タイトル
最優秀賞 (授業改善)	人吉市立第三中学校 有田 竜清	中学校 技術・家庭科(技術分野)の実習における自由進度学習のためのICT活用授業
優秀賞 (授業改善)	熊本県立芦北支援学校 福島 佳江	ICT活用で能動的な学びへ ～特別支援学校(知的)高等部でのチャレンジ～
優秀賞 (授業改善)	高森町立高森中央小学校 研究部	ICT活用を基盤とした授業改善
優秀賞 (授業改善)	高森町立高森中央小学校 蓮田 梨香子	自分を見つめ、考え、議論する道徳科の授業づくり ～ICTの効果的な活用を通して～
優秀賞 (授業改善)	津奈木町立津奈木小学校 江口 征史郎	ICTを活用することで「学びを自己調整する力」を高め、音読の「表現力」を育む実践
優秀賞 (授業改善)	天草市立本渡南小学校 西川 耕平	子どもの学びを「つなぐ」実践 ～Figjamの活用を通して～

同時開催の「Dx-NEXT夢コンテスト」についてはこちらから

<http://www.nextkumamoto.or.jp/yumecon/2024/nexyumecon2024.html>

「熊本県学校教育情報化推進計画」を策定しました！

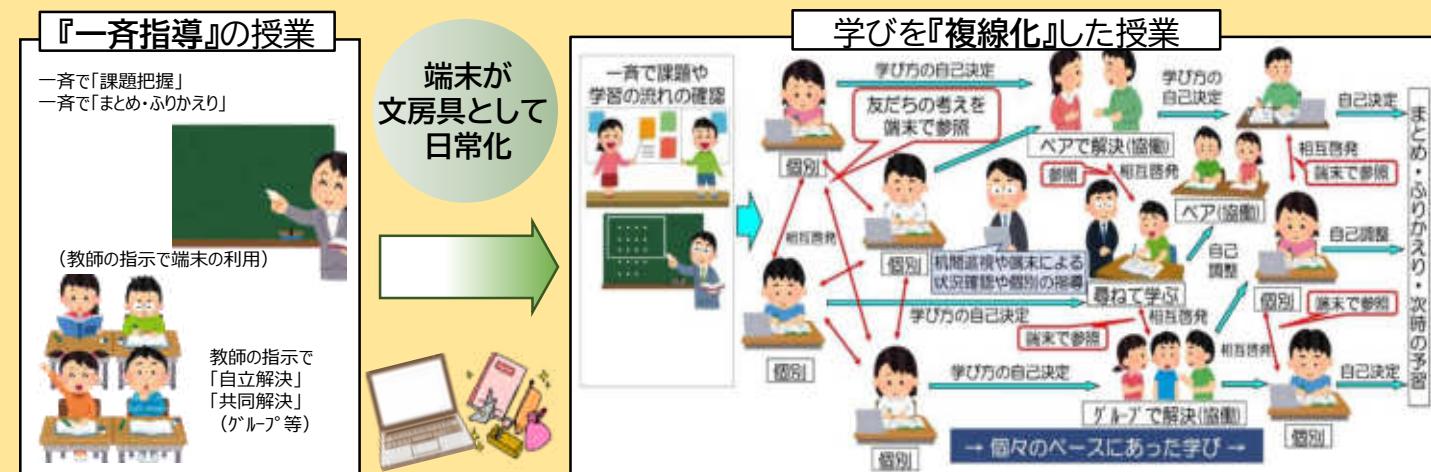
- 令和7年3月、熊本県では、学校教育の情報化の推進に関する施策を総合的・計画的に実施するため、「熊本県教育情報化推進計画」を策定しました。



* ICTを活用しながら、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的变化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう「資質・能力」。

◆児童生徒主体のICT活用へ！

児童生徒が授業において、1人1台端末を鉛筆やノート等と同様の「**当たり前の文房具**」として日常的に活用する中で、「教師主体のみの活用」から、子供たちが、学習状況に応じて、主体的に選択・活用し他者とも協働しながら学びを深めることができる**「児童生徒主体のICT活用」**の普及を図ります。



◆実現のための主な取組み

教育等データを活用して、より最適な指導を！

学習データ（エビデンス）に基づく個別最適な学びや個に応じた指導を推進し、児童生徒の学習データや校務等の教育データの一元的な可視化を推進します。

県立高校の魅力化等へのICT活用

ICTを活用した遠隔授業、AIを活用した授業等各学校において特色ある学びを推進します。

校務DX・働き方改革の促進

汎用クラウドツール等の活用や教職員用端末の一台化等により、教職員の負担軽減を図り、教育の情報化の底上げ・レベルアップを図ります。

児童生徒に対するきめ細やかな支援

いじめ・不登校等の未然防止や早期発見、障がい等により特別な支援が必要な児童生徒等に対し、ICTを活用したきめ細やかな支援等を充実していきます。

計画の詳細は、こちらからご確認いただけます



この記事に関する問合せ先：教育政策課（096-333-2673）